

## 1. サックサヤーム運輸大臣との会談

サックサヤーム運輸大臣との会談では、インフラ分野における両国間の協力について意見交換を行い、協力覚書等に基づいて、両国間のインフラ整備や都市開発等の分野の協力を更に推進していくことで一致しました。

### (1) 鉄道分野に関する協力

- ・タイ王国で検討が進められているバンコク～チェンマイ高速鉄道やバンコク都市鉄道の整備等について意見交換を行いました。
- ・タイ王国側より、鉄道分野における日本のこれまでの協力について謝意が示され、両大臣は、引き続き両国間の協力を更に推進することを確認しました。

### (2) 都市開発、スマートシティ分野に関する協力

- ・タイ王国の首都バンコクで計画されているバンスースmartシティ開発について意見交換を行いました。
- ・タイ王国側より、バンスースmartシティ開発における日本のこれまでの協力について謝意が示され、両大臣は、今後も両国の協力のもとに本事業を進展させていくことを確認しました。

### (3) 道路分野に関する協力

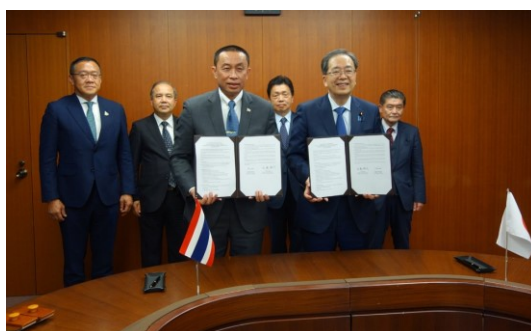
- ・令和3年5月に締結した「日本国国土交通省とタイ王国運輸省との間の道路交通分野における政策立案及び技術に関する協力覚書」に基づいた協力について意見交換を行いました。
- ・両大臣は、本覚書に基づいて、道路交通分野におけるお互いの知見の共有などの協力を引き続き推進していくことを確認しました。



会談に臨む齊藤国土交通大臣とサックサヤーム運輸大臣

## 2. 鉄道分野における協力覚書の署名

国土交通省とタイ王国運輸省は、鉄道政策等に係る共通理解及び鉄道整備・運営に係る知見共有を更に推進するため、鉄道分野における協力覚書を新たに締結しました。当該覚書は、鉄道政策やインフラ技術、鉄道利用促進、鉄道システムの環境負荷低減等、幅広い事項を対象としています。



署名後の様子（左から、チャヤタン運輸次官、シントン駐日大使、サックサヤーム運輸大臣（署名者）、水嶋国土交通審議官、齊藤国土交通大臣（署名者）、林国土交通審議官）

### 3. バンスーププロジェクトの協力に関する4者覚書の更新

国土交通省は、令和2年12月15日にタイ王国運輸省、タイ国有鉄道及び独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）と締結した、バンコクのクルンテープ・アピワット中央駅周辺（バンスー地域）における都市開発の事業推進に関する協力覚書を、今般更新しました。



4者覚書の更新後の様子（左から、ニルット タイ国鉄総裁、シントン駐日大使（立会人）、サックサヤーム運輸大臣（立会人）、チャヤタン運輸次官、林国土交通審議官、斉藤国土交通大臣（立会人）、中島UR都市機構理事長）

### 4. UR都市機構とタイ国鉄資産管理会社のバンスーププロジェクトの今後の協力に関するミニッツ交換

UR都市機構とタイ国鉄資産管理会社（SRTA）は、令和2年12月15日にタイ王国運輸省、タイ国有鉄道、国土交通省及びUR都市機構にて締結された4者覚書に基づき、開発の実務を担うSRTA（同覚書に記載するタイ国鉄子会社として設立された資産管理会社）とUR都市機構が、クルンテープ・アピワット中央駅周辺（バンスー地域）のスマートシティ開発事業の具体化に向けて協力関係を強化することを確認しました。



ミニッツ交換後の様子（左から、チャヤタン運輸次官（立会人）、シントン駐日大使（立会人）、サックサヤーム運輸大臣（立会人）、トライティップ SRTA CEO 代行（署名者）、中島UR都市機構理事長（署名者）、斉藤国土交通大臣（立会人））